

令和8年1月12日

## 「アクティブ・ラーニングの実現を目指す物理教育シンポジウム」のご案内 (対面開催)

師走の候、お忙しい毎日と拝察いたします。寒さも本格的になり、物理教育関係者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

コロナ以降、学生の姿勢が変化したとの声も耳にする中、学習者の理解を深めようという試みは紆余曲折かもしれません。でも、互いに状況や手法を共有することにより、次へのヒントが得られることが期待されます。今回のシンポジウムでは立教大学を会場としてお借りし、いろいろな話を聞き、話し、考える会にしたいと計画しました。午前は講演2本、午後はラウンドテーブル2つに参加という形式で、大学と高校の物理授業について皆でワイワイ対話します。物理を教えることについて、考え直す機会となれば幸いです。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

期日 令和8年3月7日(土) 10:00~17:00

場所 立教大学池袋キャンパス 本館2階1203教室(対面開催のみ)

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 <https://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/>

参加費 無料(ただし、会場の都合上40名までとさせていただきます。)

### プログラム

10:00-10:05	開会
10:05-11:05	崇城大学 板橋 克美氏 メンター制を通しての大学物理講義の改善(仮題)
11:20-12:20	京都教育大学 谷口 和成氏 (ILDsによる教員養成系物理模擬授業を含めた講演)
12:30-13:30	ランチミーティング(60分間)
13:30-15:40	物理教育ラウンドテーブル(メンター制を通しての物理授業改善について、各テーブルに分かれて実践報告と協議、6テーブル、途中で席替え)
1回目: 13:30-14:30	A 植松晴子(東京学芸大学)・栗田和好(立教大学)・ 高須雄一(聖マリアンナ医科大学)
2回目: 14:40-15:40	B 内山哲治(宮城教育大学)・谷口和成(京都教育大学) C 梅田貴士(広島大学)・中村琢(岐阜大学) D 中野博章(新潟大学)・山田吉英(福井大学) E 板橋克美(崇城大学)・田中忠芳(金沢工業大学) F 川島健治(法政大学中学高校)・小林力(新潟県立国際情報高校)・ 山本岳(新潟県立長岡大手高校) (敬称略)
16:00-16:40	振り返り
16:40-17:00	閉会
17:30-20:30	情報交換会

ご参加いただける場合は、2月20日(土)までに下記のGoogle Formでお申込みください。また、会終了後17:30-20:30に会場近くの店で情報交換会を開催予定です(会費4000円)。参加をご希望の方はお申込みの際にご記入ください。

<https://forms.gle/KcuEnSVRQJ41oTFYA>

ご不明な点がございましたら土佐までご連絡ください。皆様のご参加をお待ちいたします。

連絡先 新潟大学人文社会科学系フェロー 土佐幸子

[stosa\(at\)ed.niigata-u.ac.jp](mailto:stosa(at)ed.niigata-u.ac.jp) (at)を@に変換してください。



本研究グループが行っている「大学物理教育メンター制」において、2026年度参加希望者を募集しています。興味のある方は、シンポジウム申込フォームにご記入ください。